

南部地域療育センターそよ風 2022 年度保護者等からの事業所評価の集計結果

1. 自己評価概要

実施時期	2023 年 2 月 1 日～2 月 17 日	回答方法	アンケート用紙による匿名回答
回答状況	配布 55 人、回答 41 人、回収率 75%		
公表	2023 年 3 月 25 日		

2. 自己評価集計結果

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者のご意見	ご意見を踏まえた対応
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	10	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内で踊りなどをするには狭い ・園児の受け入れ増で手瀬間になってきているのではないかと感じる ・園庭が狭い ・西館は十分だが、本館は狭く、冬寒い。 ・部屋で活動ができ、ゆうぎしつが広いため天候関係なく活動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み内容によって場所を変え、活動スペースを確保します。 ・寒さ対策はカーペットなどを使って対応します。 ・園庭は菜の花保育園と共有のため、時間をずらしたり、公園も活用していきます。
②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	28	7	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちが十分に休憩時間が確保できているのか疑問を感じている。 ・職員数の不足を感じるシーンが多々ありました。先生が足りず申し訳なくなることがありました。 ・配置数は考慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数は適正に配置されています。フリー配置をすることでより丁寧な支援を行い、職員のはたらきも適宜見直します。 ・職員の専門性については研修等を行い、スキルアップに努めます。
③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	25	10	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化していた扉などに改善がみられる。 ・作りが分かりやすい ・建物の古さ故に最適とは言えないが工夫によりリスクは軽減されていると思う ・トイレへ行く扉が重く子どもが開けられない。 ・伝達がうまくいっていないことよくあった。 ・段差もケガにつながる子がいるため、バリアフリー化されているとは言えない。 ・設備は、直すべきところがいくつかあると思います。 ・生活空間は子どもにとってわかりやすい。段差が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早急に修繕するところは行います。修繕計画を立て、計画的に進めます。 ・バリアフリーに対しては、利用しながら不便なところにご意見をいただき、順次改善に努めます。
④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	23	15	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施設全体が整っているとは言えない ・ほこりでアレルギー反応から鼻水が出てしまうことがあった。 ・配置がよくない ・雨漏り危ない ・足の裏もいつも真っ黒 ・テラスは靴と裸足なので清潔かは疑問だが、子どもにとって安全領域だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テラスの靴の脱ぎ場など、門扉の整備と合わせて検討しています。 ・雨漏りについては、業者と修繕に向けて準備を進めています。 ・清潔な保育環境の維持に引き続き務めていきます。
⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が	40	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画が合っていないと思う。 ・一人一人に合った計画でありたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの姿や状態をとらえ、保護者の共有しながら支援をす

	作成されているか。						すすめます。
⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	37	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しく説明してほしい ・細かな部分での支援内容も話し合っって作成されていると思う。 ・細かな部分での支援計画も話し合っって作成されていると思う。家族支援？地域支援？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育計画を、クラス懇談会等で丁寧に説明をします。 ・家族支援や地域支援の役割について、お伝えする機会を設けます。(懇談会、契約説明会などで)
⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	39	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・うまくできていないと思う。 ・個別で相談し、話し合っって作成されたもので支援してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画についてはより丁寧にお話し、ご理解いただけるまで、保護者の方と相談し説明させていただきます。
⑧	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	39	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・家ではできないような活動を考えてくれている。 ・内容が伝わってこない。 ・活動プログラムはとても工夫されていてすごいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、創意工夫をして療育をすすめます。
⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、地域の子どもの活動する機会があるか。	8	12	17	4	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で交流がないように思う。 ・障害のない子と活動する機会はないが、あると不安が生じるかもしれない。 ・機会がない。不安が生じるかも。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況に応じて、地域の園への移行に向けてなど、他園との交流の機会を検討します。
⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	38	2	1	0		
⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	39	1	0	1	支援内容の説明も作成されたものを見ながらするので、改めてできるようになったことが分かる。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の姿に合わせた支援内容を丁寧に説明するようにします。
⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)がおこなわれているか。	29	5	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のノートを通して小さな変化や成長を知れて家での関わりに取り入れている。 ・説明が伝わってこない。 ・専門的なことはわからないので勉強していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズも捉えながら、ペアレントトレーニング(家族支援、保護者研修など)をすすめます。
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか。	38	2	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ内容ばかりで変化が感じられない。 ・連絡帳は先生によって書き方が違うが、大事なことは伝えてもらっているので安心。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子登園など保護者と共有できる場で、子どもの姿を捉えたり、理解を深められる伝えをしていきます。 ・職員の書き方、伝え方の学習を検討します。
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	38	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・一回の面談では話しきれなかったり忘れてしまうこともあるので、定期的で助かる。 	
⑮	保護者会の活動支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	32	4	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・係の仕事が多くつらくなることも ・コロナの影響で交流がない ・入園してすぐに顔合わせがあるといい ・機能していないと思う。 ・なかなか話す機会がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はウイズコロナで随分と活動を再開しました。その分、慣れない活動やわからないことも多くありました。次年度に向け、活

						ので保護者会やいろんな活動 活動ありがたい。	動のやり方を見直し、 引き続き活動していき ます。
⑩⑥	子どもや保護者からの相談 や申し入れについて、対応の 体制が整備されているととも に、子どもや保護者に周知・ 説明され、相談や申し入れを した際に迅速かつ適切に対 応されているか。	28	7	3	2	・たまに同じことを複数人か ら言われたことがあった。 ・迅速ではないし全てが行 われてはいない。 ・対応の体制はとても速い と思う。説明もあり助かる。	・職員間の伝達を丁寧 に行うとともに、重複し ないよう窓口を決める などして対応します。 ・迅速に対応するよう 努めます。
⑩⑦	子どもや保護者との意思疎 通や情報伝達のための配慮 がなされているか。	35	3	1	1	・お便りに書いてあっても忘 れてしまいますが、朝伝えてく れたり連絡帳に書いてあるの で助かる。	・
⑩⑧	定期的に会報やホームペー ジ等で、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報や業 務に関する自己評価の結果 を子どもや保護者に対して発 信されているか。	35	2	2	1	・おたよりで予定が分かり安 い。	
⑩⑨	個人情報の取扱いに十分注 意されているか。	36	3	0	1	・名前や生年月日の書かれ たものを紛失したと連絡が はいったことがあるので不 安に思う。	・個人情報管理につい ては十分に注意をして いきます。
⑩⑩	緊急時対応マニュアル、防犯 マニュアル、感染症対応マニ ュアル等を策定し、保護者に 周知・説明されているか。ま た、発生を想定した訓練が実 施されているか。	37	1	1	1	・マニュアルの説明があっ たか不明	・コロナやインフルエン ザへの対応など、その 都度、お便り等で周知 します。 ・園のしおりに記載し ている内容を説明して います。
⑩⑪	非常災害の発生に備え、定 期的に避難、救出、その他必 要な訓練が行われている か。	38	2	0	0	・どのように避難訓練をして いるのか、おたよりで教えて ほしい ・津波時の避難場所が本当 に大丈夫か不安 ・定期的にあつてすごい。	・親子登園日に防災訓 練を実施します。
⑩⑫	子どもは通所を楽しみにして いるか。	39	0	0	1	・嬉しそうに行って帰ってき ます。 ・楽しみに通っている。	
⑩⑬	事業所の支援に満足してい るか。	34	4	2	0	・誰に相談していいか分か らず気が付いたら手遅れに なったことが。もう少し寄り 添ってほしい。 ・手厚くサポートして頂いて いて感謝している ・なかなか電話がつながら ない時があり不安になるこ とがある。	・子どもたちが楽しく安 心して登園していただ けるよう、保護者の方 とも連携し療育をすす めます。 ・電話については、込 み合う時間帯には連 絡事項を整理し、長く ならないよう努めま す。

以上の結果を公表致します。頂いた意見をもとに、保育内容等の改善に努めていきます。
アンケートへのご回答ありがとうございました

管理者（園長）：佐藤明裕
児童発達支援管理責任者：濱田美穂
療育主任：小原千里

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年3月25日

事業所名 南部地域療育センターそよ風

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	20	6	課題・指導室 1-4 は少し狭い。	・クラス人数によっては保育室内が手ざまに感じることがあるため、活動に合わせて場所を変えるなど工夫をします。
	②	職員の配置数は適切である	18	8	課題 ・有給がとれるよう、パートさんを雇ってはどうか。	・適切な職員配置をしています。環境整備などパート職員を増員するなどして業務整理を検討します。配置基準や制度理解を職員も学びます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	15	11	・角など危険なところはガードしている。 課題 ・まだまだバリアフリー化していない箇所が目立つ、物が多く事故にあう危険性も高い、トイレ環境も悪い。	・安全ガードなど環境面から対策ができるところは修繕していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	20	6	課題 ・活動に合わせて屋外を使用しているが、室内でスペースを取れるといい。畳をどけても狭い。 ・まだまだバリアフリー化していない箇所が目立つ、物が多く事故にあう危険性も高い、トイレ環境も悪い。	・毎日の清掃を丁寧に行います。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	22	4	課題 ・日々の療育に追われ、自分の課題に向き合えない時がある。	・チームでの仕事づくりをすることで、個々だけの頑張りになりすぎないようにします。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	24	2		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	25	1	・親の会などでしている。 課題 ・HP は新しい情報をもっと更新されるといい。	・毎年年度末に HP で公表しています。 ・HP を活用し、情報発信に努めます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	24	1	・安産衛生委員会がある。	

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	24	2	・保育の役に立った。 課題・周知されていなかったり、受講機会に差がある。	・積極的に研修参加を促します。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	26	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	20	5		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	24	2		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	25	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	20	5	課題 ・リーダーが決め、当日に伝わる人が多い。 ・新しい行事など挑戦がない。	・子どもたちの経験を広げるための行事の見直しなど検討する。 ・行事準備を簡略化するため、備品など継続して使えるものにしていく。 ・週案、日案を計画的に立案し、進めていく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	23	3	・時期により偏りはあるが工夫されている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	25	1		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	17	9	・時差出勤などで不十分なこともあるが、事前に連絡を取り合うなど工夫している。 課題 ・打ち合わせの時間が取れない時がある。	・事前の打ち合わせの共有方法を検討します。 ・週2日はクラスケース時間を確保し、見通しを持った話し合い運営を行う。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	15	10	・可能な限りしている。 課題 ・バス、延長でできない時もある。	・振り返りや翌日の打ち合わせなど、業務時間内に行えるよう段どりをして動くようにする。

	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	22	4		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	23	3	・半期に一度行い次の計画に繋げている。	
関係機関や保護者との連携関係	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	24	2		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	20	5		・保健センターや自立支援協議会と連携を図っています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	21	3	・ケース検討で多職種連携に繋げている。	・引き続き、個々の状況に応じて関係機関と連携を行います。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	18	7		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	23	3	課題 ・もう少し連携が深まるといい。 ・巡回指導のみ。年に数回状況把握できるといい(アフターケアとして)。	・保護者からの相談などあった場合は、適宜、園と情報交換や支援について連携を行います。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	22	4	課題 ・巡回指導のみ。年に集会状況把握できるといい(アフターケアとして)。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	22	3	・合同研修、ケース検討がある。	

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	21	課題・ あまり機会を持っていない。	・子どもの状況に応じて療育計画、支援計画の中に立案します。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	17	9		・引き続き、児童のワーキンググループ幹事会に参画します。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	26	0	課題・懇談の機会を各家庭ももっとしっかり持てるといい。	懇談会は、必要に応じて随時行います。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	23	3	・新入児は個別支援プログラムを行っている。	・保護者支援のプログラムの内容充実に向け、職員の研修をすすめます。
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	21	5		
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	25	1		
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	25	1	・細かな相談も受け入れ(担任全員で)共有、改善している。	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	24	2	課題 ・担当が仲介して運営していたが、連絡が難しい時があった。 ・コロナ化で不十分だった。 ・父の参加が少ない。	・父親や兄弟の行事参加や家族支援を丁寧に行います。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	24	2	・迅速に対応している。保護者に起用力を得て対応することもある。	
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体	26	0	・園だより、クラスたより、きずなネットで工夫している。 課題・行事の知らせは早めに出せるといい。	・年間計画は出しているが、詳細の伝えを早めに出していきます。行事に向かうテンポを決め、内容も柔軟に検討します。

	制等の情報を子どもや保護者に対して発信している				
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している	24	0	・連絡ノート入れ間違いがないよう二重チェックしている。	
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	26	0	・外国籍の方への対応が丁寧。	
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	22	4	・夏祭り、バザー等行事で工夫している。	
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	25	1	課題 ・防犯、感染は把握しきれしていない。防犯訓練を行えるといい。	・マニュアルは整備しているが、職員がより適切に活用できるように見直しをします。
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	26	0	・月に一度行っている。 課題 ・具体的な予告なしに訓練する機会が必要。	・引き続き、毎月の訓練を重ねるとともに様々な状況に対応できるようにします。
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	26	0		
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	25	6	・十分であるか不明。	・
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	24	2		
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	20	4	課題 ・もう少し機会があってもいい。	
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	26	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。